

<卒業研究題目>

<副題>

<主専攻> <学籍番号> <著者氏名>

指導教員：<指導教員氏名・職名>

社会工学類卒業研究梗概テンプレート

制作：多賀重敬（社会経済システム主専攻・第 42 期卒）

v3.0.0 — 2022/12/28

1. このテンプレートについて — About

筑波大学社会工学類卒業研究梗概集原稿の書式を満たす文書様式を提供します（令和 4 年度準拠）。ファイル名の「20xxxxxxx」をご自身の学籍番号に書き換えてお使いください。また、原稿ソースファイルとして提出する際には、ファイル名の末尾に「Source」を追加してください。

このテンプレートは非公式に制作・配布されるものであり、使用により発生した問題等について制作者は一切の責任を負いかねます。0 条項 BSD ライセンスを採用していますので、確認の上、予めご了承ください。

2. 動作要件 — Requirements

動作するエンジン（処理系）は $\text{p}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ / $\text{u}\text{p}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ / $\text{L}\text{u}\text{a}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ の 3 つです。内部で $\text{j}\text{r}\text{e}\text{q}$ クラスを読み込むほか、フォント設定に関わる以下のパッケージに明示的に依存します。

- $\text{(u)}\text{p}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ 使用時：fontenc / mathptmx / otf / pxchfon
- $\text{L}\text{u}\text{a}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ 使用時：luatexja-fontspec / mathptmx

動作は公開時点における最新の TEX Live 環境で確認していますが、正常な動作を保証するものではありません。

3. テンプレートの構成と使用方法 — Structure & Usage

3.1. 設定（66 行目まで）

レイアウトの設定やコマンドの定義などを行っています。 $\backslash\text{documentclass}$ のオプションには必要に応じて fleqn や leqno を追加して構いません。フォントは欧文の Times New Roman ($\text{(u)}\text{p}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ では Times) 以外は変更して構いません。

なお、本文と数式で数字のフォントを揃えるため、数式フォントを *Times Italic* にする mathptmx パッケージを用いていますが、 bm パッケージで太字を出力できません。どうしても数式に太字が必要であれば、 mathastext パッケージを用いると数式フォントが本文と同じものになるので太字も使えますが、本文と紛らわしくなるため注意が必要です。

3.2. プリアンブル

設定の後はプリアンブルとして、自由にパッケージの読み込みやマクロの定義などに使えます。

3.3. 題目などの入力

$\backslash\text{titleitems}$ の 6 つの引数に、順に「論文題目」、「副題」、「主専攻」、「学籍番号」、「氏名」、「指導教員名・職名」を以下の例のように記入してください。特に、姓名間や教員氏名と職名の間を「全角 1 文字あける」必要があることに注意してください。 \backslash （エスケープ文字＋全角空白）で和字間隔を挿入します（ $\text{L}\text{u}\text{a}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ では全角空白だけでも可）。副題が無い場合は第 2 引数を $\{\}$ のままにしてください。題目が長い場合は $\backslash\backslash$ の改行も可能ですが、改段落はできません。

```
\titleitems{社会工学類卒業研究梗概テンプレートの開発}
            {\LaTeX で組む美しい梗概をもっと簡単に}
            {社会経済システム主専攻}
            {20xxxxxxx}
            {筑波\  社子}
            {姓\  名\  教授}
```

3.4. 本文

$\backslash\text{begin}\{\text{document}\}$ から $\backslash\text{end}\{\text{document}\}$ の間に本文を書きます。論文題目などは $\backslash\text{begin}\{\text{document}\}$ で自動的に入力されます。 $\backslash\text{maketitle}$ は本文中では無効化されます。

3.5. 最終ページについて

最終ページで左右の段をバランスさせるには、プリアンブルで $\backslash\text{usepackage}[\text{balance}]{\text{nidanfloat}}$ とするのが有効です。ただし、最終ページでの $\backslash\text{newpage}$ および $\backslash\text{clearpage}$ が正しく動作しなくなり、特に原稿が 1 ページのみの場合は題目等の出力に伴う技術的制約のため適切な組版結果が得られない点にご注意ください。

4. ライセンス — License

このテンプレートは以下の 0 条項 BSD ライセンス（Zero-Clause BSD）の下で配布します。

Copyright (c) 2021-2022 Shigetaka Taga

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR

PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

5. 更新履歴 — History

- 2021/12/11 (v1.0.0) : 初版 (令和 3 年度準拠)
- 2021/12/13 (v2.0.0) : 全面的に再構成
- 2022/03/07 (v2.1.0)
 - (u)pL^AT_EX で正しく機能しない箇所の修正
 - 書き換え禁止箇所と可能箇所をそれぞれ 1 か所に集約
 - `\loadjlreqclass` を導入
 - 図表見出しのデフォルトを `\normalsize` にする修正
- 2022/06/17 : ライセンスを MIT から 0BSD に変更
- 2022/12/28 (v3.0.0) : 令和 4 年度作成要領に対応